

こもれび

2026 (令和8) 年 10 月 No.173

涙の作用

株式会社清口祭典 清口勝巳

私事で恐縮ですが、二十年以上前に母が亡くなってから随分長い年月を経たように思います。それは母をすっかり忘れたというわけではありません。母のことを思い出しても涙が出なくなつたから、と言うより、むしろ「もう泣かなくても大丈夫になった」という表現の方が、私にはしつくりきます。それでも数年に一度ほど、ふと母のことが胸に迫ると、つい涙腺が緩んでしまうのは、当時とは別の感覚の、懐かしく、愛おしい涙でした。

母が亡くなる更にその十年以上前に、葬儀業界でグリーンフワーク（喪の仕事）が広く知られ始めたように記憶しています。グリーンフワークは、大切な人を失った深い悲しみに向かい合い、現実を受け容れながら心が立ち直っていくために、悲しみ、怒り、自責感、無力感といった様々な感情を経験しながら、故人のいない環境に少しずつ適応していく営みのことです。その時、まさに葬儀はグリーンフワークの重要な一歩となる大切な儀式と理解した次第です。葬儀は形式的で決まりきったものであるからこそ、混乱した心を整理するために少なからず意味があるように思っています。

葬儀は、主に「看取り→安置→打合せ→納棺→通夜（通夜振舞い）→葬儀→出棺→火葬（会食）→後飾り」の過程を一つひとつ経ることで、受け容れ難い死という現実を、徐々に少しずつ認めていくようにできています。

その葬儀を補完するものとして、たとえば生前の写真を飾ったり、趣味の物や遺品を並べたりするメモリアルコーナーがあります。また最近では、経木でできたお弁当箱に、ご遺族が故人への最後のお弁当を作り、それを祭壇にお供えした後、ご出棺の際に御柩に納めていただくことも提案しています。こうして故人との様々な思い出を振り返ることも「喪の仕事」になります。これらも私たち葬儀に携わる者の大切な業務の一つと考えています。

母の三回忌で施主の私が挨拶をする際、隣にいた妻から「泣くんじやないぞー」と発破を掛けられました。笑顔で返して以降、母を思って涙を流すことはなくなりました。振り返ると、その二年間は悲しさやつらさと向き合い、いのちや生きることをじっくりと考えるための大切な時間でもありました。



燃焼時間の長さでみる

百具一心堂のお取り扱い **ろうそく**

燃焼	商品	特徴	本数・数量	単価(税込)
5分	花御堂ローソク 	低い溶融粘度と良好な燃焼性のある国内精製のパラフィンワックス使用。使い切りタイプ。	300本 96g	726円
10分	カメヤマ五色蠟燭 	「流れず、曲がらず、くすぶらず」の『三ず』にこだわった世界トップレベルの品質を追求したろうそく。カラフルで気分に応じて使い分けられる。	300本 303g	1,650円
	姫ダルマ 	富士山の湧き水を使用した高品質のろうそく。	180本 200g	748円
	和遊蜜燭 	蜜蝋と植物性原料を配合した、天然素材ならではの色と風合いのろうそく。	116本 98g	1,320円
20分	孫ダルマ 	日本有数のろうそくメーカー東海製燭の代表的商品。富士山の湧き水を使用した高品質のろうそく。燃え残りがほとんどない。	130本 200g	748円
	菜八華(さいはつか) 	植物原料を90%以上配合。ススがなく、消しにおいがいい。	104本 225g	825円
40分	華むらさき プチ 	点火するとゆっくりと自然に花びらが開く。	56本 223g	980円

◆ご覧になられて気になったろうそくはありましたか？

ろうそくその他、お線香や仏具等に関するご質問をお待ちしています。

百具一心堂 042(642)0922(水曜日を除く10時から17時半までどうぞお気軽にお掛けください)

お灯明 ろうそくのお話

毎朝、ろうそくに火を灯し、お線香を焚いている方はどのくらいいらっしゃるのだろうーなどと思いつつながらこの項を担当しています。お家にお仏壇がある方は、是非、ろうそくに火を灯すことから始めるお参りをしてみたいかがでしようか。火の扱いには十分に気をつけながら、少し気持ちが引き締まる、そんな時間を持っていたただければと思います。

◆燭台とろうそく

…お氣をつけていただくこと

① 燭台の針に合った大きさのろうそくを選びます。

ろうそくの底には、燭台の針を差し込むための穴があります。この穴の大きさが燭台の針に合ったものを選ぶことが大切です。ろうそくを安定させ、倒れることを防ぐためです。また、消し忘れることを考慮して、燃焼時間が五分や十分のものを選ぶ方もいらっしゃると思います。が、くれぐれもろうそくがぐらぐらしていないかを確認してから火を灯してください。

② 芯糸の飛び出しにご注意ください。

燭台を掃除した際に、受け皿の底の部分に水分が残っていると、芯糸が燃えたまま外に飛び出すことがあります。必ず水分を拭き取ってください。

これは、ろうそくが燃え尽きる直前、芯糸の先端が炭化して硬くなった時に、そこへ水蒸気やろうそくの動きが加わると、その芯糸がはねて飛び出す現象です。

◆上手な火の付け方

① まず、ろうそくの芯をまっすぐに立てます。そして深呼吸(「これは私のやり方です。気持ちも入ります！」)。

② 芯の根元に火を近づけ、ロウをゆっくりと溶かすと、確実に点火しやすくなります。



③ 再び火をつけるときは芯の周りを整えます。

頭部のほこりを取り除いて、芯糸を5ミリ以上にすると点火しやすくなります。

◆なぜ、ろうそくを灯すの？

お仏壇のろうそくの明かりは「灯明」と呼ばれ、単に明るくしたり、お線香に火をつけるためのものではなく、仏さまへの大切なお供えの一つです。

また、お灯明の光は、仏さまの「智慧」を象徴するものといわれます。その光は、仏さまの智慧によって、迷いや無明を照らすことを表します。

そう考えると、毎日何気なく灯している一本のろうそくも、少し違ってみえてくるのではないのでしょうか。

*ろうそくの使用法については、カメヤマローソクのホームページを参考にしました。

鎌倉萌え散歩

第十回 鎌倉七福神巡り (最終回)

文と画像 粗学 夢幻(そがくむげん)

十代の頃から鎌倉に惹かれてもうすぐ半世紀。ぼけつつある頭を叱咤し、令和5年鎌倉検定三級を、令和6年二級を取得。鎌倉に住みたいと思いつつも八王子から通い続ける写真が趣味の昭和男子。



七福神巡りは、お正月の定番行事である。この稿が届く頃は十月で、ぼちぼち一年の終わりの見えてくるし、最終回にふさわしいおめでたいお題である。私はこれまで七福神が祀られている神社は訪れたことがあるが、七福神巡りはしたことがなかった。そこで今回、実際に七福神巡り萌え散歩を決行することとした。

鎌倉七福神は、江ノ島にある江島弁財天も加えて八つの神様を巡る。元々は鎌倉だけの七福神だったが、江ノ島も合わせて観光して欲しいとのことで加わったそう。だから弁財天は二つ含まれている。

巡る順番は特に決まりは無いが、歩いて行くとなると、北鎌倉からスタートして鎌倉の街中を抜け、長谷を通って江ノ島へ向かうのが最も効率的と思う。巡る順番に並べてみると次のようになる。

布袋尊	浄智寺	福徳円満
旗上弁財天	鶴岡八幡宮	芸能成就
毘沙門天	宝成寺	勝運来福
寿老人	妙隆寺	長寿延命
夷尊神	本覚寺	商売繁盛
大黒天	長谷寺	出世開運
福祿寿	御霊神社	家禄永遠
江島弁財天	江島神社	金寶富貴

最近週末などは江ノ電が混んで乗り切れない場合もあったりするので、長谷まで行くのにこの道を歩くことが推奨されている。一キロ半程度なので、三十分も掛からない。

長谷寺の大黒様は、大黒堂のさわりと御利益がある「さわり大黒」に詣でる。観音ミュージアムには東日本最古の「木造大黒天立像」があるが、こちらは更に料金が掛かるから遠慮して、「さわり大黒」をさわりまくる。御霊神社の福祿寿は、宝蔵庫に納められており、入館料百円が必要だが、ここは奮発して拝む。御霊神社前の踏切周辺は、紫陽花の名所である。最近はその季節になると大混雑するが、境内は撮影禁止なので注意してもらいたい。社務所の中に猫のピピちゃんがいる。

ここから江ノ島までは相当の距離がある。極楽寺切通を越えた後は、海岸沿いに出れば比較的平らな道だが、そろそろ額が出てきて、歩いても歩いても江ノ島が近づかない。意地を張らずに江ノ電に乗れば良かったと後悔し始める。一時間半も歩いてやっと江ノ島にたどり着く。そこからまた江島弁財天までは急な登りなのだ。有料のエスカレーターがあるが、最後の力を振り絞る。艶めかしい弁財天を拝んだら、向かいの御朱印所で最後の

七福神とは、神様と仏様の要素を併せ持つ存在だそう。七福神メンバーには、インドのヒンドゥー教や仏教に由来する神々(大黒天、毘沙門天、弁財天)や、中国の道教に由来する神々(福祿寿、寿老人)、そして日本の神道に由来する神(夷尊神)が含まれている。また布袋尊は、実在した禅僧がモデルとなっている。

そのため、七福神を祀る際には、神社と寺院の両方が関わることが多く、七福神詣では神社と寺院を巡るのが一般的だ。神社では神道の作法で参拝し、お寺では仏教の作法で参拝することになる。つまり、七福神は神様でもあり、仏様でもあるという、日本独特の神仏習合の文化を象徴する存在なのだ。興味深い!

お散歩当日は、朝九時に北鎌倉の浄智寺開門とともにスタート。もうお馴染みの布袋様に挨拶がてら、撫でると幸せになれるというお腹をスリスリする。萌えると言えば、七福神の中ではこの布袋様がナンバーワンである。スリスリした後、七福神巡りの色紙を購入し、御朱印を押してもらおう。ビニール袋に入れてくれるので、持ち運びに困らない。



御朱印を頂き、「おめでとうございます」の言葉と共に結願の印を押してもらおう。疲れも吹き飛ばさずと思えばそんなことは無く、その辺にへたり込みたくなった。時計を見ると十五時が近い。

参考までに、御朱印の色紙は最安で五百円、御朱印は各寺社で五百円、その他に拝観料が掛かる寺社があり、当然お賽銭も掛かる。それなりの出費を覚悟されたい。

結局一日で三万歩も歩いてしまった。まあ最後だから少々の無理も思い出になる。皆さんは無理せず乗り物を使って、場合によっては日を分けても構わない。お正月でなくても、気候の良い時期を選んで欲しい。今回訪れたのは、残暑とは言え三十度を超える真夏日だった。決死の燃え散歩である。お昼に一杯やっちゃって、酔い散歩ならぬ良い散歩であった。

終わりに、二年半に渡りご愛読ありがとうございました。皆様の健康をお祈り致します。



セミナーのご案内

— これからの暮らしと「もしも」に備える終活セミナー —

「相続」と聞くと、難しく堅苦しい印象を受けるかもしれません。ですが、本セミナーでは、まだお元気な今だからこそ知っておきたい「これからの備え」について、特にご相談の多い「遺言」「税金」「認知症対策」などを中心に、専門家がわかりやすく解説いたします。身近に頼れる人がいる方も、そうでない方も、是非、お気軽にご参加ください。



今回は講師に株式会社こころのカンパニーの相続コンサルタントをお呼びしています。こころのカンパニーとは、「超高齢社会の課題を解決する」というコンセプトのもと、各サービスを通じて「お客様に安心を届ける」ことに注力する会社です。全国15カ所に拠点をもち、役所・年金・相続・名義変更などの手続きに精通したアドバイザーが在籍しています。また高齢者終身サポートや家族信託、おひとりさま対策などにも対応しています。

弊社では、葬儀代精算時にご案内をお渡ししていますが、セミナーでは、元気なうちに始められる対策についてお話をいただきます。

冬のインテリアグリーン講座 — ハイドロカルチャーの寄せ植えを作ろう —

室内でもグリーンを楽しむことができるハイドロカルチャーは土を使わないため、キッチンなど衛生面が気になる場所にも気軽に置くことができます。ご自身の作ったハイドロカルチャーはきっとご自宅に緑の潤いをもたらしてくれるはずです。ぜひ一緒に作りましょう！



カラーサンド



ハイドロボール

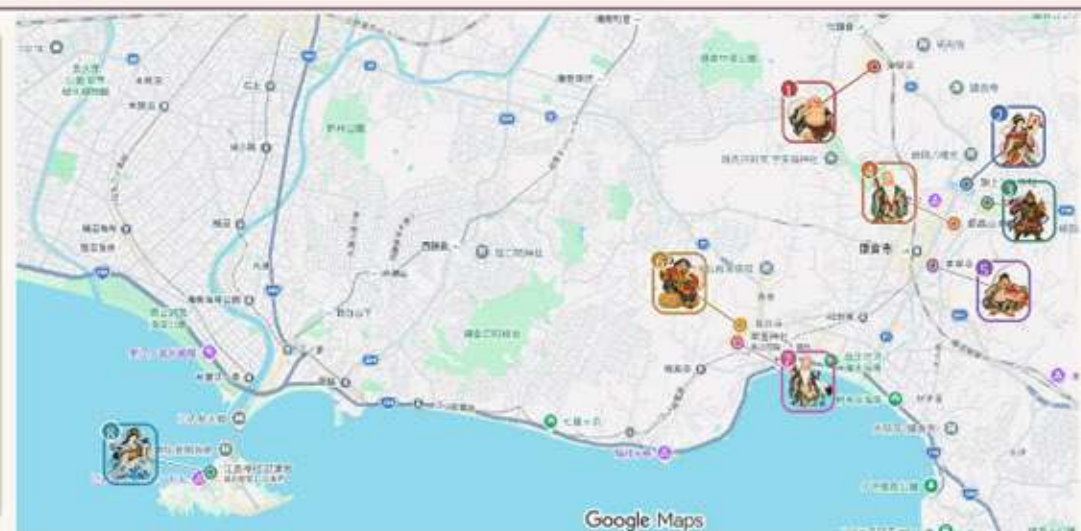


ジェリーボール

鎌倉・江の島 七福神めぐり

参拝スポット

- ① 淨智寺（布袋尊）
- ② 鶴岡八幡宮（旗上弁財天）
- ③ 宝戒寺（毘沙門天）
- ④ 妙隆寺（寿老人）
- ⑤ 本覚寺（夷尊神）
- ⑥ 長谷寺（大黒天）
- ⑦ 御霊神社（福祿寿）
- ⑧ 江島神社（江島弁財天）



粗学夢幻さんの「鎌倉萌え散歩」10回シリーズがついに最終回を迎えました。毎回、どんな視点で鎌倉を取り上げるのかと、一読者として楽しみにしており、この記事を読むにあたり、「歩いて楽しむ鎌倉・湘南」という本を入手し、地図を片手に散歩気分を味わっていました。実際にこの記事を読み、鎌倉に行ったという読者の方の声もたくさん届き、うれしい限りです。

余計なお世話と思いつつ、七福神めぐりの地図と各寺社のポイントを載せてみましたので、併せてお読みいただくと嬉しいです。

① 淨智寺（布袋尊）

弥勒菩薩の別の姿が布袋尊といわれています。境内裏の洞窟に等身大の石像が祀られていて、多くの方に撫でられ、お腹はとてもツルツルしています。

② 鶴岡八幡宮（旗上弁財天）

源頼朝が平家滅亡を祈願したという旗上弁財天社は源平池右の中島にあります。弁財天像は国宝館に安置してあります。

③ 宝戒寺（毘沙門天）

北条氏ゆかりのお寺。「萩の寺」として有名ですが、境内にある枝垂れ梅の大木は鎌倉随一です。また、サルスベリの名所としても知られています。

④ 妙隆寺（寿老人）

樺一木造りの寿老人尊像が祀られています。夏に咲く「酔芙蓉」の花が有名で、朝には白、夕方にはピンクへと花の色が変わるのを楽しむことができます。

⑤ 本覚寺（夷尊神）

枝垂れ桜の名所として有名です。幕府の裏鬼門にあたっていたので、幕府を守る神として、源頼朝が祀ったとされています。

⑥ 長谷寺（大黒天）

鎌倉では杉本寺に次いで古いお寺で、四季折々の花が楽しめます。高台にある見晴台からは、鎌倉のまちと海が一望できて、絶景スポットになっています。

⑦ 御霊神社（福祿寿）

江ノ電の踏切のすぐ脇に鳥居があります。毎年9月18日に行われる「面掛行列」は天狗や翁の面をかぶった人々が練り歩く神事で神奈川県無形文化財に指定されています。

⑧ 江島神社（江島弁財天）

日本三大弁財天の一つとして有名な、裸弁財天「妙音弁財天」が、境内の辺津宮に祀られています。三大弁財天とは、この妙音弁財天と、安芸の宮島、滋賀県長浜市の竹生島の弁財天を指します。

セミナーのご案内

これからの暮らしと「もしも」に備える終活セミナー

元気な今だからこそ知っておきたい「これからの備え」について、「遺言」「税金」「認知症対策」などを中心に、専門家がわかりやすく解説いたします。
詳細は7頁をご覧ください。

日 時	11月13日(金) 午前10時～11時
講 師	株式会社こころのカンパニー 相続コンサルタント
定 員・参加費	10名・無料

冬のインテリアグリーン講座 — ハイドロカルチャーの寄せ植えを作ろう —

実際にハイドロカルチャーの寄せ植えを作りながら、日々の管理の方法や楽しみ方をお伝えいたします。準備の都合上、7頁の3種類の寄せ植えをご覧ください。ご希望のタイプをお聞かせください。

日 時	12月7日(月) 午前10時～11時
講 師	大谷 知久(管理部・グリーンアドバイザー)
会 費	会員 500 円、一般 1,000 円 ※当日入会で会員価格になります。
定 員	10名

準備の都合上、お申込み時にご希望のタイプをお聞かせください。

ご葬儀個別相談会

心配な人がいるけれど、何を相談したらいいのかわからない・・・
そんな方のためにご葬儀の個別相談をお受けいたします。不安なこと・心配なことなんでも聞いてください。
ご都合が合わない方は、別の日時でもお受けいたします。遠慮なくご相談ください。

第1回	1月16日(土) 午前10時～11時
第2回	同 日 午後1時～2時
定 員・参加費	定員 各時間帯3組まで・無料

セミナーはお電話で、事前にお申込みください

TEL.042-642-0921

会場：溝口祭典 こすもす斎場 (八王子市元横山町2-14-19)

仏壇仏具店の百具一心堂にてお仏壇の大売り出しを行います。詳細は中のチラシをご覧ください。

今回の表紙「都忘れ」

鎌倉時代の承久の乱(1221年)で敗れ、佐渡に流刑された順徳天皇が、庭に咲いていた紫色の野菊のような花を見て都への思いを慰めたという故事に由来します。「この花を見ていると、つらい都のことをしばし忘れられる」という思いから名付けられました。